

令和8年度 仙台市指定特定相談支援 事業所運営等支援事業 内容説明会

孤立から協働へ。持続可能な地域支援ネットワークの構築に向けて



2026年7月15日
仙台市委託事業受託法人
一般社団法人思箭（おもいやライフ）

本日の流れ

□事業内容の説明

□受託法人
一般社団法人思箭の紹介

□事業の必要性と進め方

□質疑応答

✓ 事業内容の説明

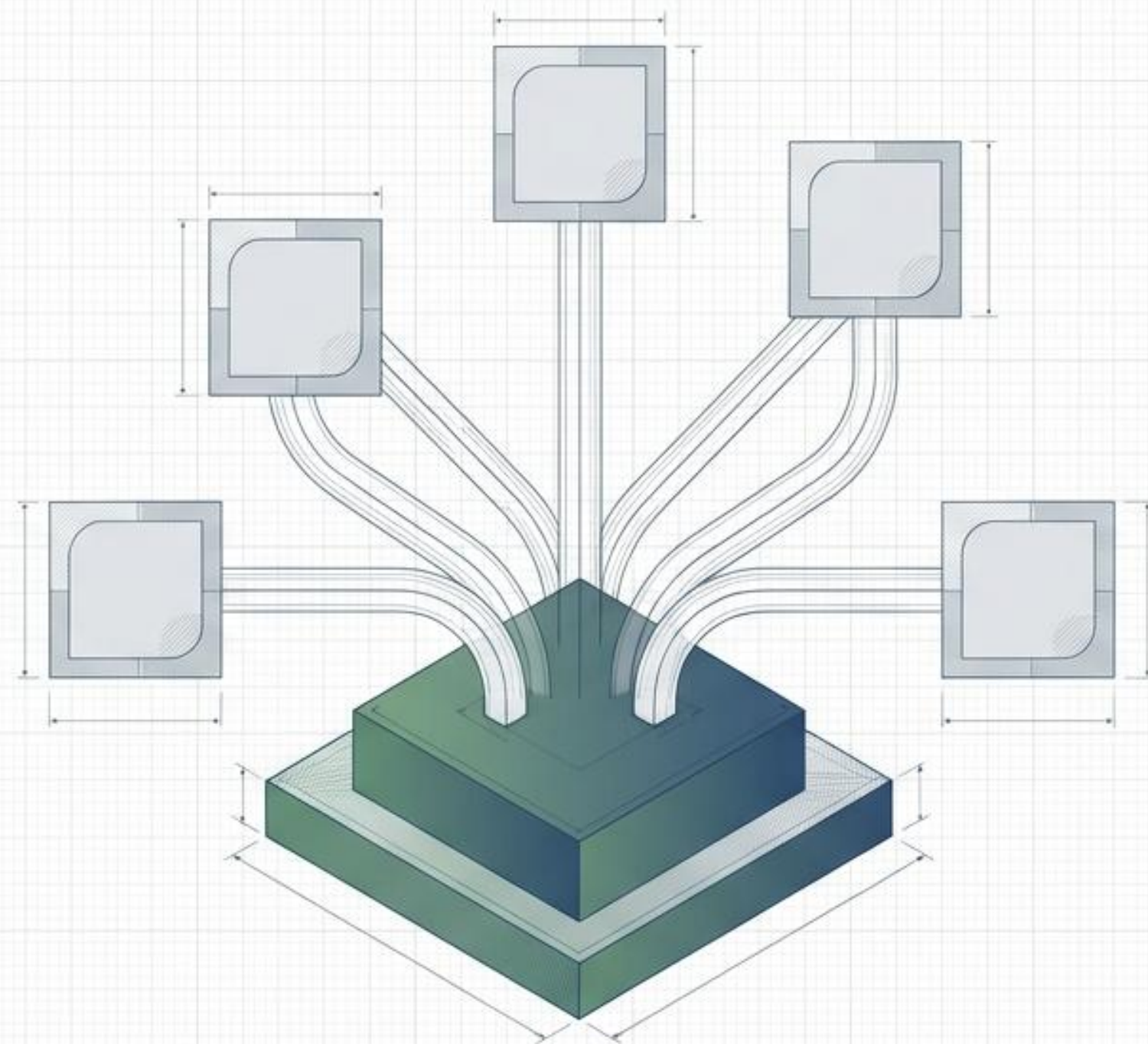
□ 受託法人
一般社団法人思箭の紹介

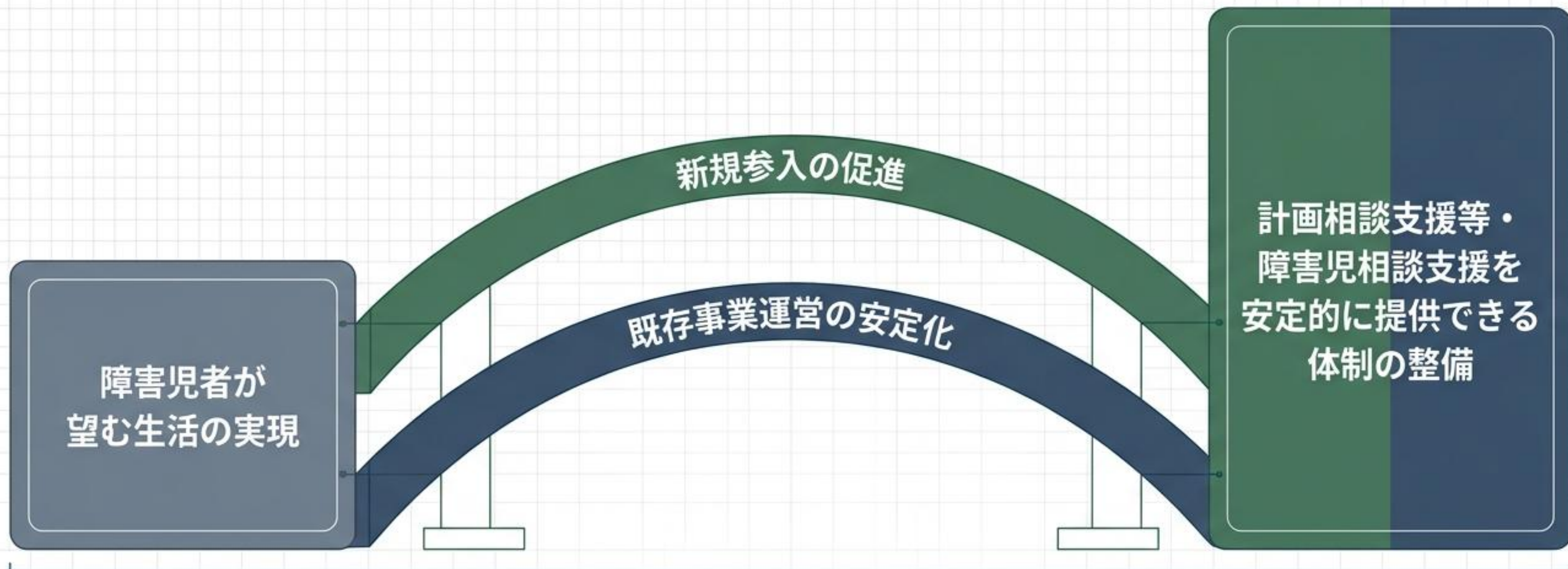
□ 事業の必要性と進め方

□ 質疑応答

指定特定相談支援事業 所運営等支援事業 内容説明

仙台市における計画相談支援体制の拡充と
既存基盤の強化に向けた実行計画





**支援事業者の「裾野を広げる」ことと、「土台を固める」こと。
この両輪により、強固な相談支援エコシステムを構築する。**

新規参入の支援対象

計画相談支援等に「未参入」の事業者等

障害福祉サービス事業者

居宅介護支援事業者

訪問看護事業者

その他、事業実施を検討する者

改善・ネットワーク形成の対象

すでに事業を展開している指定特定事業者

指定特定相談支援事業者

指定障害児相談支援事業者

1

準備業務

- ・計画書の作成・承認
- ・周知広報(チラシ・Web・説明会)

2

運営等 支援業務

- ・柱1:新規参入支援
- ・柱2:改善支援・ネットワーク形成

3

効果検証

- ・アンケート調査による評価
- ・体制強化に向けた市への提案

4

事業報告

- ・月次実績報告
- ・事業終了後の総合報告・決算

啓発

- ・制度、支援フロー、仙台市のニーズの普及啓発。
- ・研修を通じた参入イメージ形成と意欲喚起。

意向把握

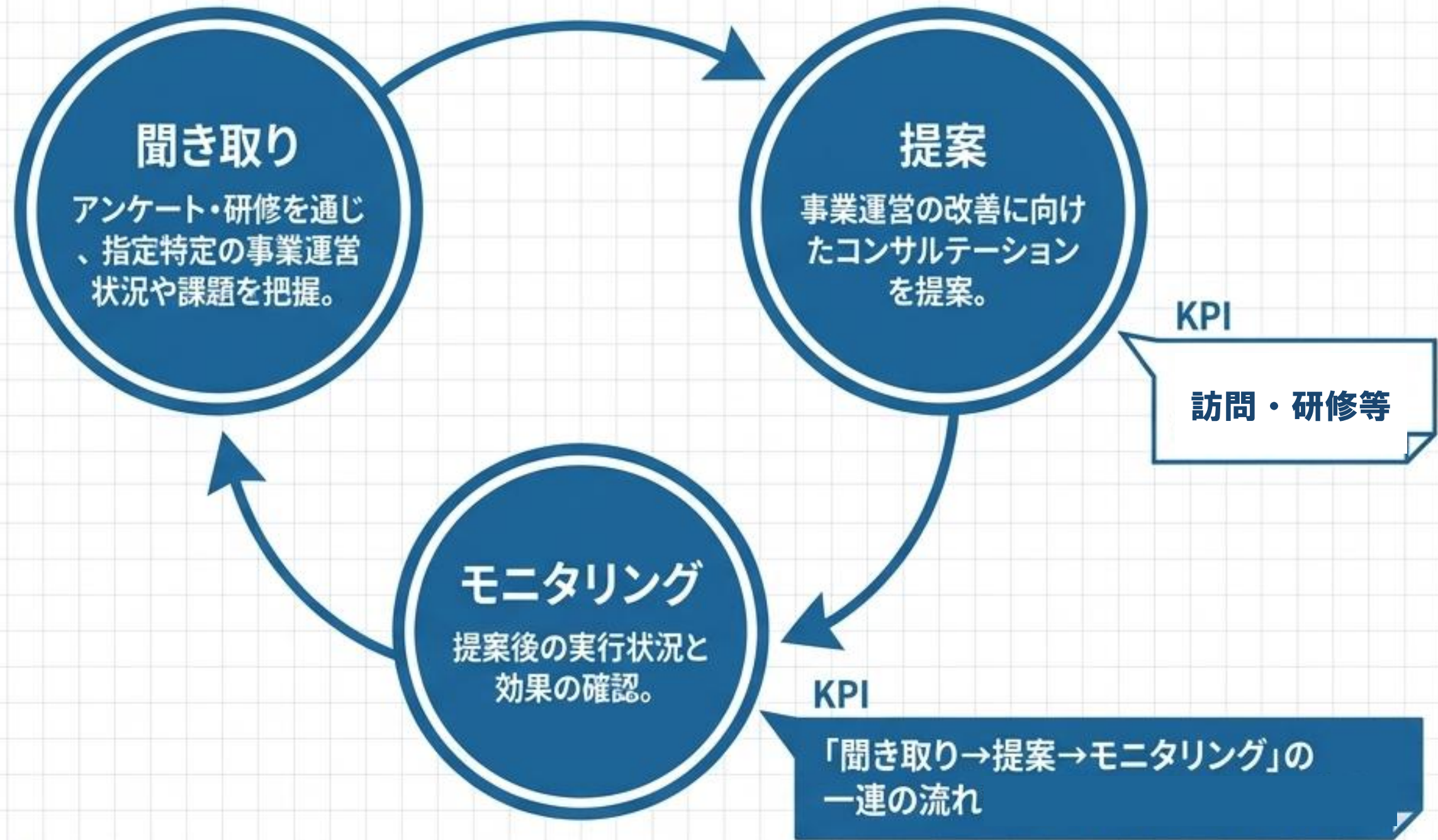
- ・アンケート等を用いて、前向きな意向を持つ事業者を抽出・把握。

提案・働きかけ

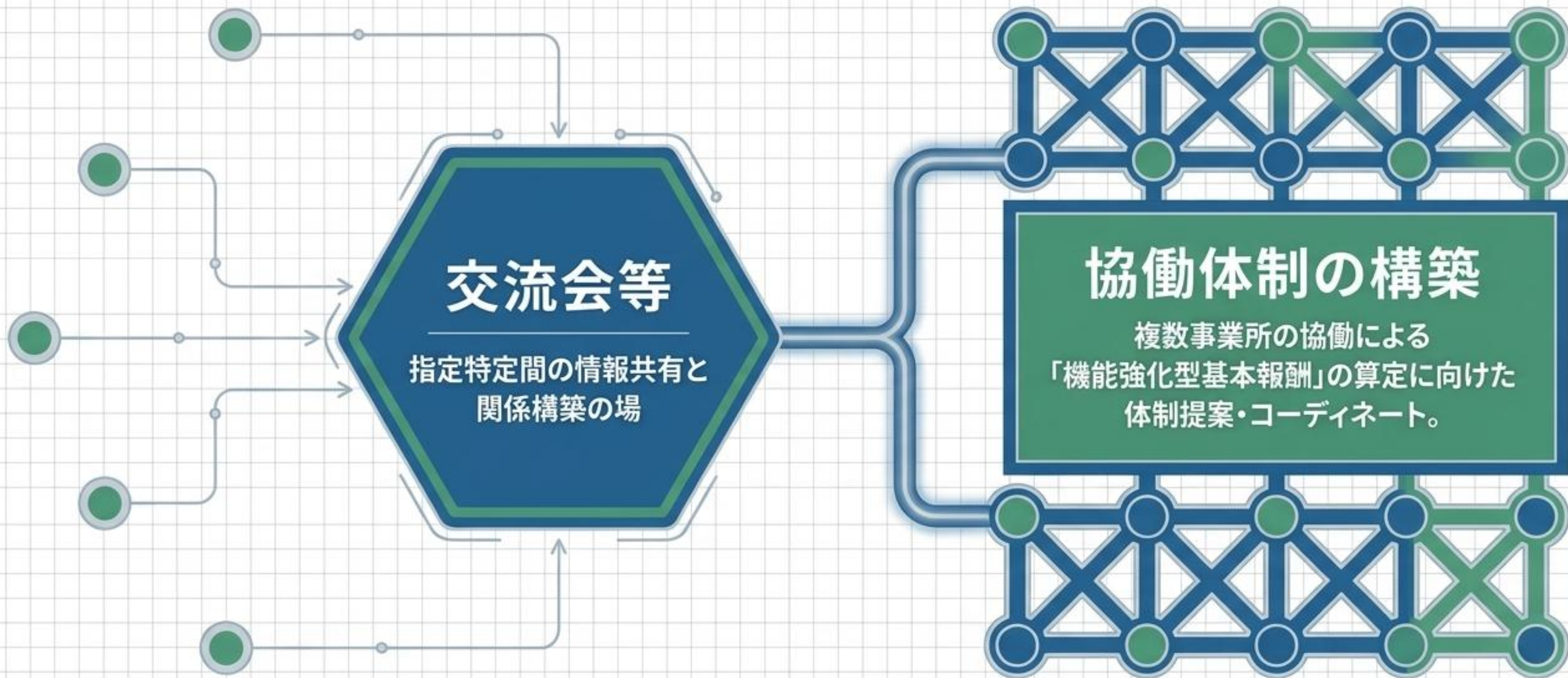
- ・訪問を基本とし、各事業者の課題解決に向けた相談・助言・機関紹介を実施。

**新規参入に向けた
提案や働きかけを行う**

※上記以外の支援対象からの相談にも適宜対応すること。



KPIとは、Key Performance Indicator(キー パフォーマンス インジケータ)の略で、「重要業績評価指標」と訳される。簡単にいえばKPIとは中間目標であり、ゴールに向かうまでのプロセスの目標数値である。目標達成にむけたパフォーマンス状況を測るために設定する。



- ✓ 会場・オンラインの併用
- ✓ 開催日時・回数の配慮
- ✓ HPでのアーカイブ配信
- ✓ ガイドブックの活用・更新

新規参入指標

- ・新たに参入した事業者数
- ・支援対象の新規参入に係る「意欲の変化」

改善指標

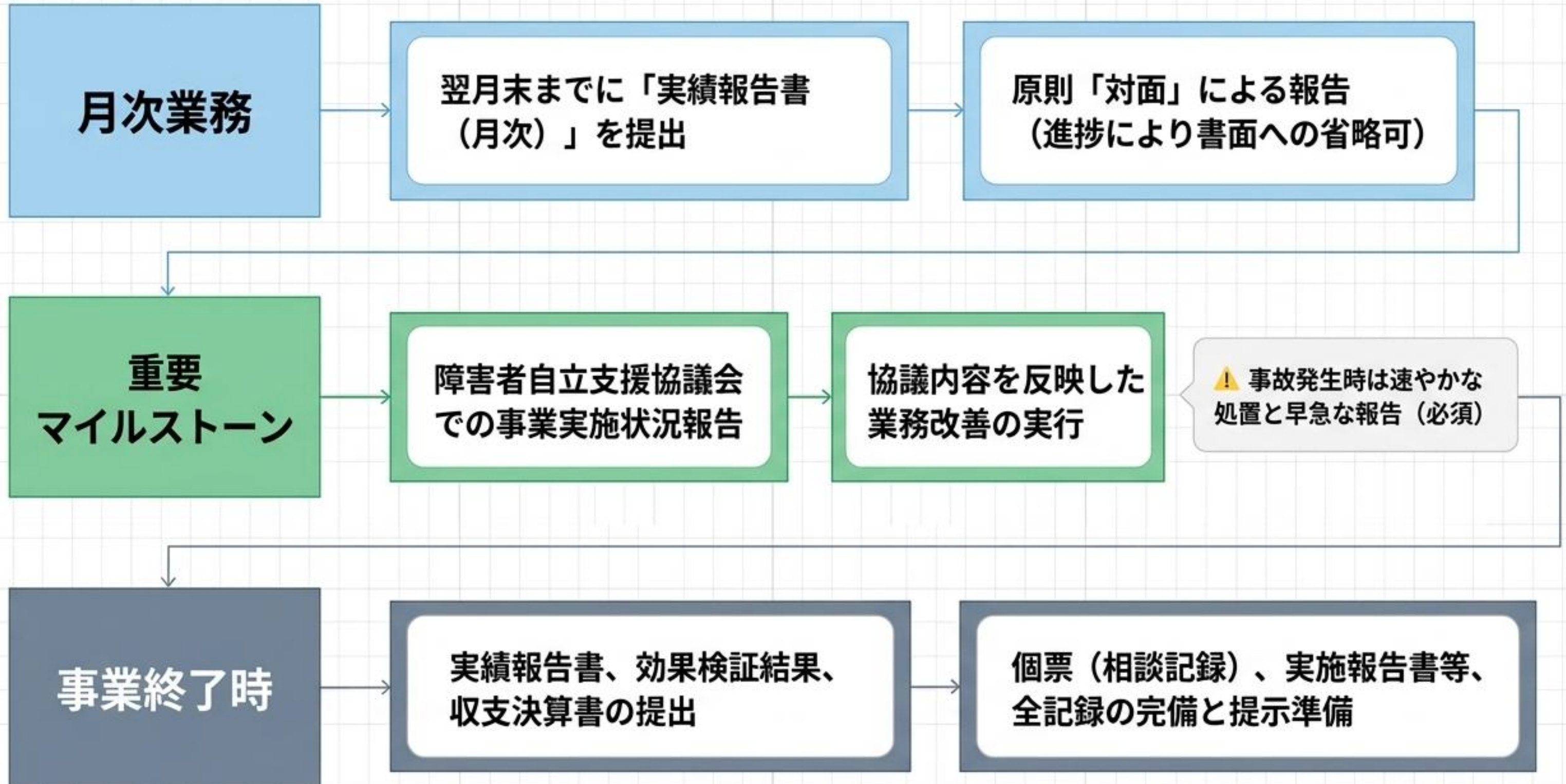
- ・指定特定の事業運営の改善状況
- ・安定的な事業運営に係る「知識・ノウハウの獲得状況」

ネットワーク指標

- ・交流会等への参加状況
- ・複数事業所の協働体制の構築数

発注者（仙台市）への還元

客観的評価（アンケート等）に基づき、計画相談支援等の体制強化に必要な「政策的提案」を行うこと。



厳格なガイドライン遵守

- 「仙台市行政情報セキュリティポリシー」等の絶対遵守
- 履行場所外への情報持ち出し禁止 (特別の承諾を除く)

絶対的な守秘義務

- 委託業務外での使用、複写、第三者提供の禁止
- 契約解除後・業務終了後も守秘義務は永続

事故時の責任

- 漏えい・紛失発生時は直ちに報告・対応
- 事実究明・対応に生じた費用は「全て受注者が負担」

□事業内容の説明

✓ 受託法人 一般社団法人思箭の紹介

□なぜ必要なのか？

□質疑応答

一般社団法人思箭 概要説明

心が晴れる明日を共に創る。
一人ひとりの思いに寄り添い、地域のぬくもりを広げる。

Omoiyaliグループ

アクセス & 法人情報

法人情報

法人名	一般社団法人思箭（おもいや）
代表者	李 曉冬（リ シャオトン）
連絡先	TEL 022-352-7046 / Email: omoiyalife@yahoo.co.jp
相談受付	月曜～金曜 10:00～17:00 （事前予約制）

アクセス



新寺事業所（本部）

〒984-0051 仙台市若林区新寺1丁目5-26
レインボー仙台310号室

（JR仙台駅東口より徒歩10分）



上杉事業所（サテライト）

〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-62 1階

おもいやライフのコアサービス

1. 相談支援事業 (計画相談)

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成と、一定期間ごとのモニタリング。

利用者を支援するための中心的な総合計画（トータルプラン）の構築。

2. 地域相談支援

地域生活への移行と定着のサポート。

施設や病院からの「地域移行」における不安解消と、日常活の問題を把握する「地域定着」支援。

3. 自立生活援助

単身生活への移行希望者や、支援が見込めない居宅生活者へのサポート。

定期的な巡回訪問や随時通報に伴う訪問による、居宅での自立した日常生活課題への助言・相談対応。

計画相談の流れ



おもいやライフの専門性×体制加算

	専門医・資格	取得加算体制
重度障害・医療的ケア	医療的ケア児等コーディネーター配置	要医療児者支援体制加算（Ⅰ）
強度行動障害	強度行動障害支援者養成研修修了者	行動障害支援体制加算（Ⅰ）
精神障害	精神障害関係従事者養成研修修了者	精神障害者支援体制加算（Ⅰ）
高次脳機能障害	高次脳機能障害支援養成研修修了者	高次脳機能障害支援体制加算（Ⅰ）
当事者視点の共感	障がい者ピアサポート研修修了者	ピアサポート体制加算

【主任相談支援専門員 2名在籍 / 相談支援機能強化Ⅰ型体制】

仙台市内で最も多く相談支援専門員を配置（9年目）。

あらゆる複合的なニーズに対し、最高水準の専門知識で対応可能なチーム体制。

ピアサポートの力 ～当事者の目線で歩む～

障がい者ピアサポート研修（基礎及び専門）を修了した専門員を配置（ピアサポート体制加算取得）。

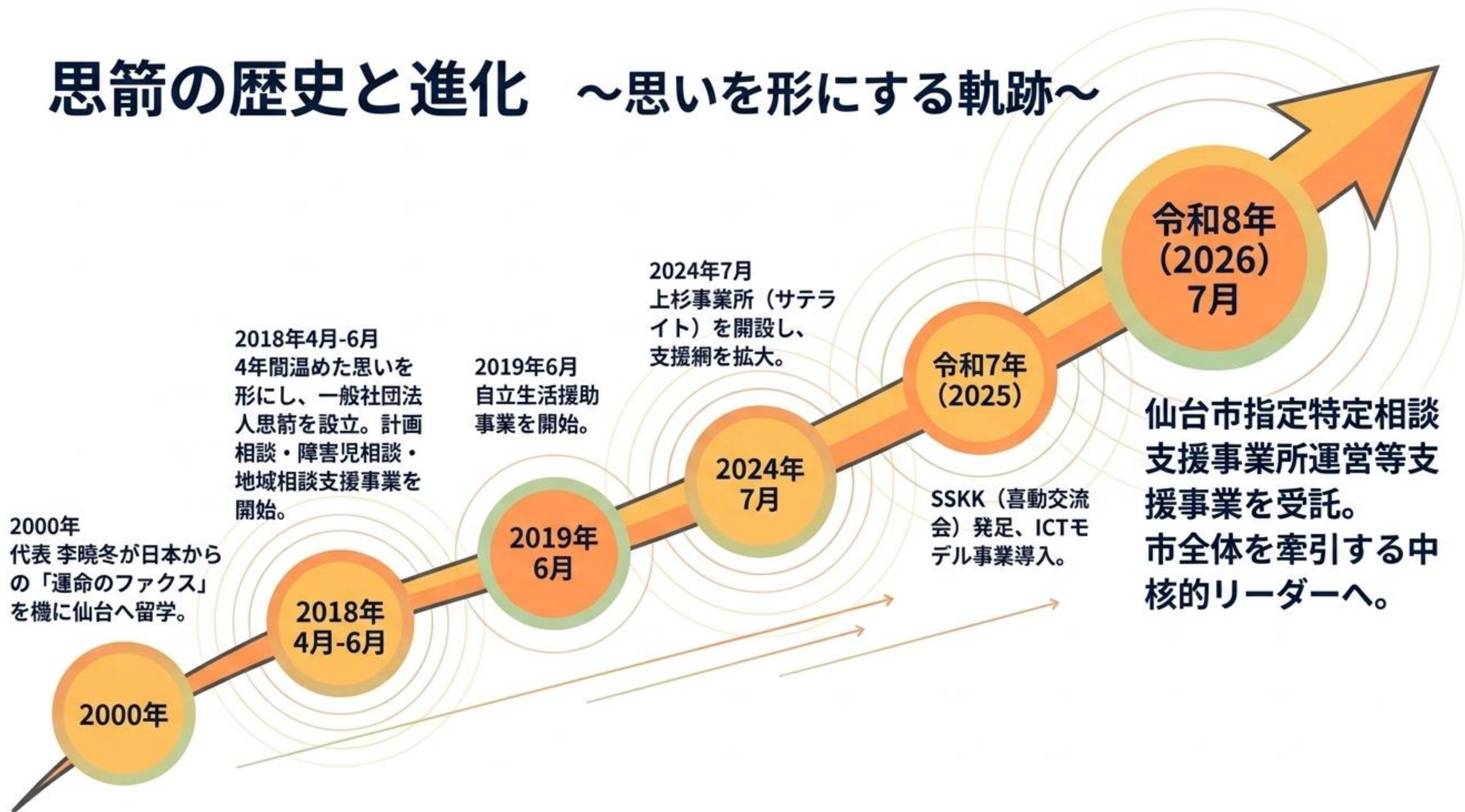


主な活動内容

- 当事者会の主催（「Likewise」夏のボウリング大会など、利用者が参加できる交流の場）
- 訪問同行、相談支援専門員への研修
- 情報発信：「Be Challenge ～これが私の人生～」ブログの随時更新を通じた、社会参加体験の共有。

“ 自分の体験に基づいて同じ仲間として、社会参加や地域での交流、課題解決などを支援する。 ”

思箭の歴史と進化 ～思いを形にする軌跡～



仙台市の課題解決へ：『仙台市指定特定相談支援事業所運営等支援事業』の受託

令和8年7月1日より仙台市から正式受託

一般社団法人思箭

1. 新規参入の促進

まだ計画相談支援事業を開設していない福祉・介護法人への設立サポート。

2. 既存事業所の安定化

安定した事業運営ノウハウの共有と行政との連携強化。

・内容説明会（令和8年7月15日）

・新規参入希望法人向け説明会（令和8年7月29日）

@仙台戦災復興記念館（対面・Zoomハイブリッド開催）

目標：相談支援従事者を増やし、「望まないセルフプラン」を減らし、より本人らしい生活を叶える未来を創る。

□事業内容の説明

□受託法人
一般社団法人思箭の紹介

✓事業の必要性と進め方

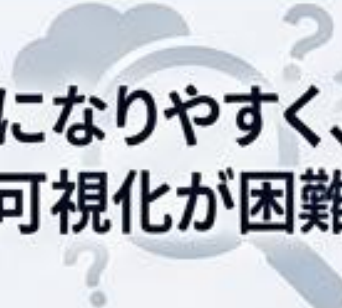
□質疑応答

仙台市における相談支援の 「見えないボトルネック」



サービス利用者は増加の一途をたどる一方、支援体制が追いつかず、本人主体の選択が脅かされています。

なぜ「望まないセルフプラン」を解消すべきなのか？

専門員による計画相談	望まないセルフプラン
専門員が手続きと調整を代行 	家族や本人が全手続きを抱え込む（疲弊） 
制度外資源も含めた最適なマッチング 	本人の知る範囲のサービスに限定（孤立） 
第三者視点での適切なサービス評価 	主観的になりやすく、課題の可視化が困難 

30.7%

セルフプランの全国平均は30.7%。
仙台市において、これを
「利用者の真の選択」による
ものだけに純化させることが
急務です。

本事業のミッション:「事業所をただ増やす」から「安定して継続できる」環境へ



伴走者としての「思箭（おもいやライフ）」



「18歳で来日し、現場で感じた『障害のある方にもケアマネジャーのような存在が必要だ』という思いが原点です。」
—— 代表理事 李 曉冬

圧倒的実績

設立9年目、担当ケース約800名以上

仙台市最大規模の体制

相談支援専門員10名配置、うち主任2名

地域牽引力

「仙台福祉医療等経営者交流会」や
「仙台相談支援喜動交流会」の主催

一事業所の枠を超え、行政・基幹センターと連携し、仙台市全体の底上げに尽力します。

本事業の3本柱



【柱①】新規参入支援：新たな担い手の発掘と伴走

Target:

指定障害福祉サービス事業者 /
居宅介護支援事業者 / 訪問看護事業者 等

設立サポート:

人員基準、指定要件、収支シミュレーションなどの具体的アドバイス

個別提案・働きかけ:

法人の実情に合わせた個別訪問と課題解決の提示（目標20法人以上）

啓発・意欲喚起:

研修・説明会を通じた現状ニーズと可能性の共有（不安の払拭）

【柱②】 事業運営の改善支援：安定と継続のために



具体的な改善支援領域

- ☒ 適切な各種加算の算定ノウハウ
- ☒ 人員体制の整備と業務効率化
- ☒ 収支改善と持続可能な経営モデルの構築

目標15事業所以上に提案、5事業所以上に対して一連のコンサルを実施。
「仙台市計画相談支援提供体制強化事業」の補助金交付事業所への評価・支援も実施。

【柱③】 ネットワーク形成：孤立を防ぎ、強みを掛け合わせる



複数事業所の協働による
「機能強化型基本報酬」
算定に向けた体制構築の
コーディネート。

点（個別の事業所）での奮闘から、
面（仙台市全体のネットワ ーク）での協働へ。

本事業の内容と対象者

	未参入 (新規検討) 法人	既存の特定相談 支援事業所	市の体制強化事業 補助金交付事業所
参入に向けた個別相談・助言	✓		
運営状況の聞き取りと改善提案		✓	✓
継続的なコンサルテーション・ モニタリング		✓ 選定5事業所以上	✓
交流会・ネットワーク形成への参加	✓	✓	✓
複数事業所協働体制のコーディネート		✓	✓

プロジェクト・タイムライン（令和8年度）

本日：事業内容説明会

7月15日

既存事業所向け研修会
(課題の抽出と協働の提案)

7月29日

8月19日

個別訪問・コンサルテー
ション開始/
協働体制説明会

8月26日

9月

効果検証・独自「運営参考
ブック」の作成と共有

11月

2027年
3月

新規参入希望法人
向け説明会
(実践的なノウハウ共有)

新規参入向け
全体説明会 &
グループ説明会

事業活動の
中間報告

参入・運営に対する「現場の不安」に、私たちが答えます



「単独の事業では収支が合わないのでは？」



各種加算の確実な取得ノウハウと、他事業（居宅介護・訪問看護等）とのシナジー効果による収支モデルをご提示します。



「未経験で、実務や指定基準が複雑で分からない」



ガイドブックの活用に加え、立ち上げから実務のポイントまで、圧倒的実績を持つ現役の主任相談支援専門員が直接伴走します。



「担当者が一人になり、抱え込んで孤立してしまわないか？」



「喜動交流会」を通じた地域ネットワークへ接続。他事業所と協働・相談できるセーフティネットを提供します。

次へのステップ：新規参入希望法人向け説明会

計画相談支援事業の現状、設立時のサポート、安定経営の可能性を詳しくお伝えします。



【日時】

2026年7月29日（水）

①10:00～11:30 / ②14:00～15:30（同内容）

【場所】

仙台戦災復興記念館 4階 研修室

& オンライン（Zoom）ハイブリッド開催

【対象】

相談支援事業の新規参入に興味がある
法人・個人、運営の可能性を知りたい方



右記QRコード、または
特設サイトのお申し込み
フォームよりご登録ください。

すべての人が、自分の意思で 未来を選ぶ街へ

相談支援の充実は、一つの事業所だけでは実現できません。
行政、既存事業所、そして新たな担い手となる皆様が連携し、
地域全体で支え合う「設計図」を共に作り上げましょう。

仙台市指定特定相談支援事業所運営等支援事業
一般社団法人思箭（おもいやライフ）

特設ホームページにて随時情報更新中
[QR Code Placeholder]



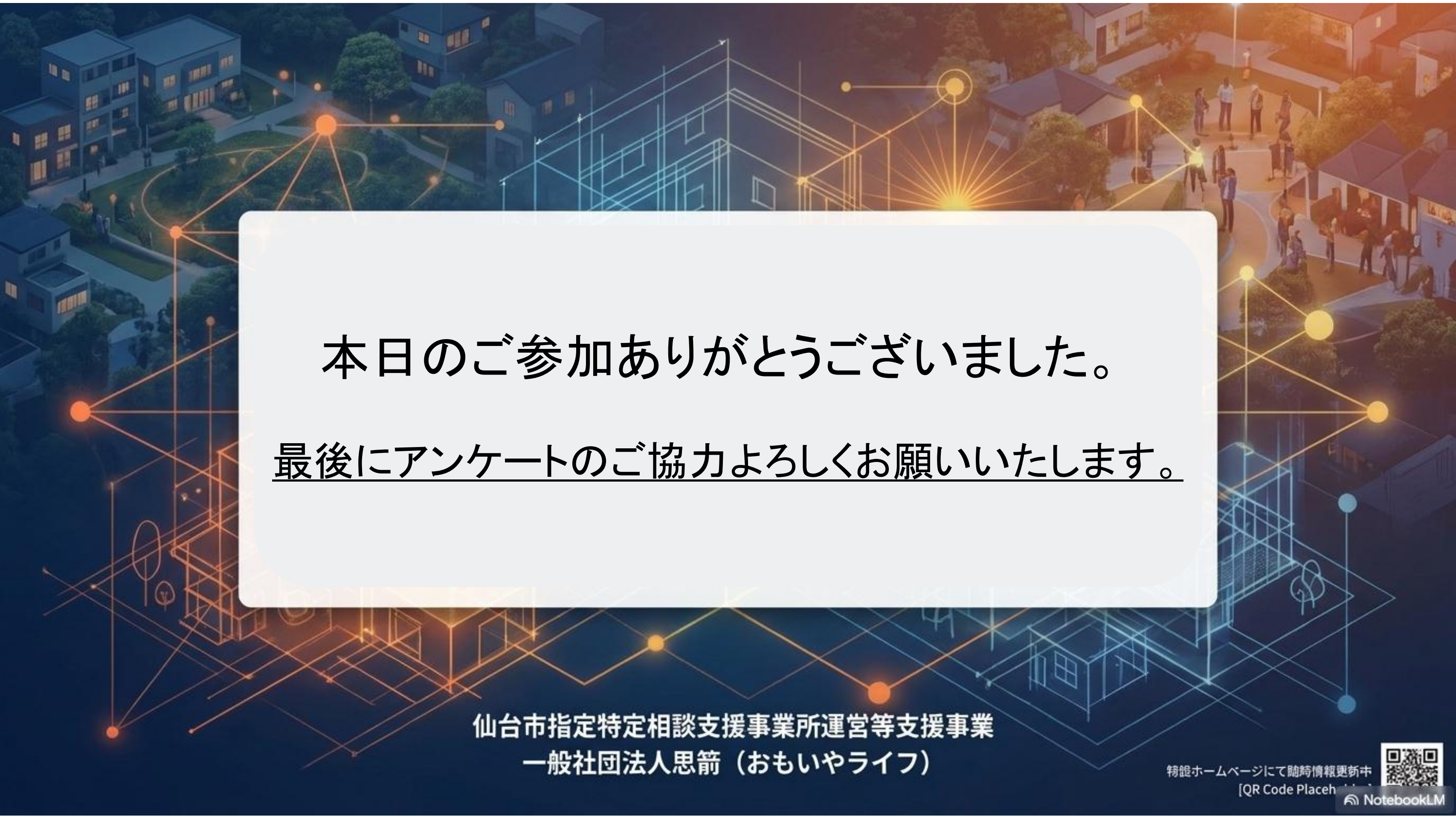
NotebookLM

□事業内容の説明

□受託法人
一般社団法人思箭の紹介

□事業の必要性と進め方

✓質疑応答



本日のご参加ありがとうございました。
最後にアンケートのご協力よろしくお願いいたします。

仙台市指定特定相談支援事業所運営等支援事業
一般社団法人思箭（おもいやライフ）

特設ホームページにて随時情報更新中
[QR Code Placeholder]



NotebookLM



まだ相談支援事業を設立し
ていない法人また個人はこ
ちらのQRコードから



既存の相談支援事業所の
方はこちらのQRコードから